

SSKO

ハイランドレポート
(高原通信)

Highland report 19

D.A.R.C 那須アディクションケアセンター
ニュースレター 第19(2004. 10. 4)

回復途上で

家族会 佐藤和子

私が茨城ダルクに繋がって2年7ヶ月が過ぎようとしています。ダルクを知らず、ただ家族の力で本人を更生させようと世間体ばかり気にして、周りの人たちに嘘ばかりついて生活していたあの頃、苦しくて辛くて情けなくて生きているのか死んでいるのか判らないような毎日でした。

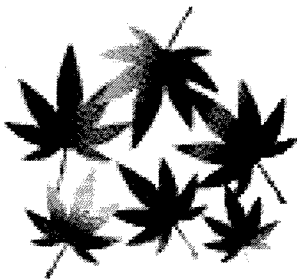


本人は3回目の逮捕で留置所の中、私は「もうイヤ」と思いつつ毎日警察へ本人の命令で差し入れを持って面会に行きました。お金も本人に言われるままに一万円二万円と差し入れていました。何をするのもいやで一日の日課が本人の面会と差し入れで終わって行きました。

警察から帰りボーとしていた時、市報「うつのみや」を偶然手にして保健所主催のフォーラム「薬物依存からの回復」が目に見え込みました。フォーラムでは岩井さんのメッセージで薬物依存は一生直らない病気、だが回復は出来る。病気という認識のなかった私の頭の中をパニックが走りました。

栗坪千明さんのメッセージ私に希望を与えてくれました。薬を使用してもあのように回復できる。絶望の淵で見出した一条の光でした。

飯室さんのメッセージ、今までの私の経験の代弁ではないかと耳を疑う程でした。私の苦しみ悲しみ全て同じような経験をしてきたのに穏やかな笑顔でメッセージを送っている驚きでした。



仕事から帰った夫にフォーラムの事を話し「漂流の果てに」を読んでもらい「これしか私たちに方法はない」と話しました。主人は「俺たちの力で更生させよう」とか「俺たちの老後はどうするのだ」とか迷っていました。

私は「離婚してください。二人で蓄えたお金を半分下さい。本人を回復させたい」と頼みました。私がそこまで考えていると思っていなかった主人は「考えさせてくれ」といって出した結論が刑務所出所と同時に本人をダルクに繋げるという事でした。

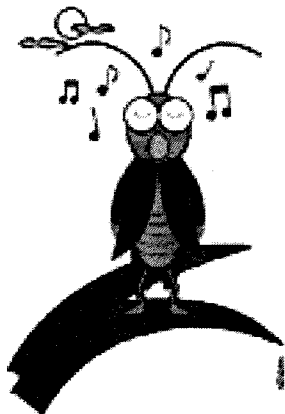
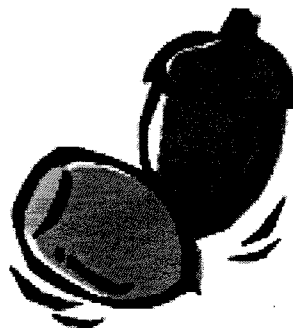
私たち夫婦の家族会参加が始まりました。初めてのカウンセリングの時、私が余りにも泣くのでパートナーとして同じ立場の仲間を紹介してもらい一緒にカウンセリングを受けました。彼女は明るく「一緒に歩こうね」と言ってくれました。私は刑務所に居る本人に面会に行きたいばかりに車の免許を取ったばかりだったのですが岩井さんの指導のもと一度も面会には行きませんでした。

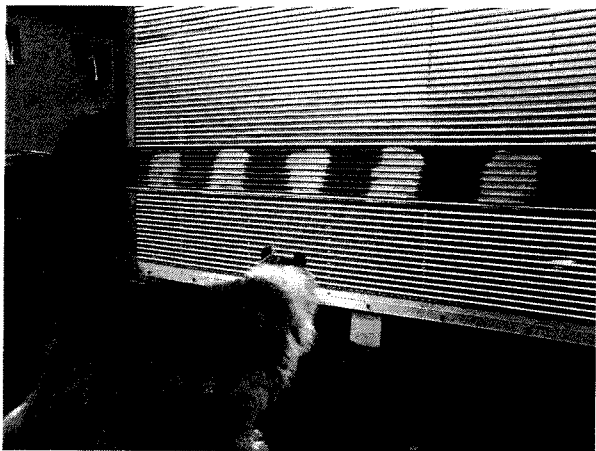
毎月の家族会の参加で仲間から色々の気付きを貰い心から信頼できるパートナーにも恵まれ気持ちが少し楽になった頃、本人からダルクに身元引受人の依頼が入り出所と同時にダルク入寮が決まったのです。出所の日、岩井さんから「息子さん預かったよ。」との電話がありうれしかったです。

ダルクを知ってから2年間は夫と二人で家族会で勉強してやっと本人が回復の為にスタート地点に立ったのです。

あれから2年7ヶ月、本人はダルクの仲間の中で生きています。今、私に出来る事は健康で本人の回復を遠くで見守り祈ってやる事、家族会で後から来る仲間にメッセージを送りつづける事、まだまだ回復途上ですがダルクの仲間、家族会の仲間、感謝です。

ありがとうございます。





先月のニュースレターで倉庫をお願いしたところ、応援して下さいている方から倉庫を頂きました。早速全員で荷物を入れて使っております。ありがとうございます。

さて那須アクションケアセンターでは那須という特徴を生かしたプログラムを組んでおり、夏は川や山やゴルフと冬は温泉やスノーボードと行っており、今年もスノーボードのプログラムをする為、年間パスポートを購入したいのですが予算がありません。いつもお願いばかりで心苦しいのですが献金を頂きたいと思います。宜しくお願いいたします。

バランス

依存症の トッチー

私がこの施設に入寮してから約10ヶ月が経ちます。8月末からスタッフ研修にも入らせてもらいました。自分としても人間らしさを少しは取り戻してきたと思っていますし感情の起伏も穏やかになり少しずつですが毎日を楽しんで過ごせるようになってきたと思います。

最近「今までの生き方を変える」ということを目標に生活していますから、そういう意味では順調な回復をしているとは思いますが、上手くいっているからこそ自分にとっては今が一番大事な時だし危うい時だとも思います。

冷静になって自分の過去を振り返ってみると、いつもこういう時期に何かしら問題をかかえて台無しにしてしまうという事の繰り返しをしてきたんです。

自分の居場所が出来上がってくるとすぐ安心してしまうという単純な性格も手伝っての事だとは思いますが、すぐに自意識過剰になるといふか自信過剰になってしまい、結果として支配的になったり暴力的になったりする。そして周囲の意見や忠告を聞かなくなり、自分の力で全てを解決しようと突き進む。ただ、薬を使い続けている自分がいくら頑張ってみても上手くいかない事は多々あるし、その時は上手くいったとしても一つ一つの無理が歪となって積もっていくような生き方を続けていくと、ふとした瞬間に全てを投げ出してしまいたくなって薬に溺れてしまう。バカだと思うし情けなく思いながらもそんな事の繰り返しを何年も続けてきました。

今の自分も似たような状況なんです。自分は施設にいさせてもらっていて結果として覚醒剤を10ヶ月使っていないだけなのに、薬を使って2~3日しか経っていない新しい仲間が入寮してくる度に自分と比べてしまうんです。そして昔の考え方で「俺は、やっぱりこいつらとは違う」とか「俺くらい優れた人間が10ヶ月も回復だけを考えて生活してきたんだからもう殆ど治ったんだろうし、これから先この施設に居つづけても俺の為にはならない」という端的な発想になりがちなんです。こんな考え方を始めてしまうと昔の自分ならすぐに施設を退寮しようとしたらろうしNAからも離れようとしたと思います。

ただ何度も同じ過ちを繰り返している訳にもいかないし、少しは落ち着きも持っていられるようになったし、何よりも「NAの12のステップ」や「平安の祈り」を自分の心の中に常に置くように意識したことで回避出来るようにはなってきました。



最近思うんですが、時間が解決してくれる事っていうのは私が思っていたよりもずっと多いんですね。それに、薬を使わない日々を続けているだけで与えられる物はこんなにも多いんだという事も分かってきました。

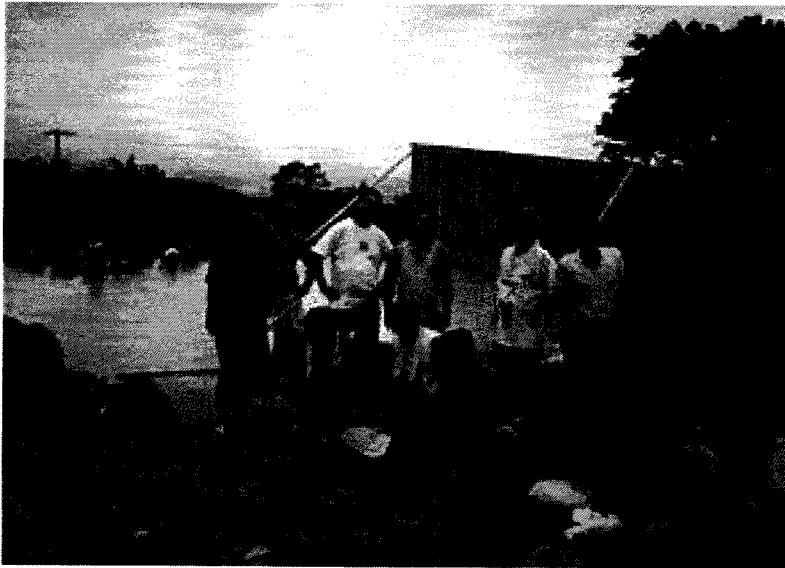
お金もたいしてないし女性もいない、自由も殆どない今の生活を終わりに決めてもらえない状況でただただ続けていく事に最初は不安や不満を持ち続けていましたが、今の自分の現状を見つめ続けることで受け入れる事が出来るようになってきましたし、更にたった10ヶ月ですがクリーンを続けているだけの自分に分不相応な程の役割りを与えてもらったり、こんな自分を信用してくれたり頼りにしてくれる仲間が増えてきたりこれから自分にとって本当に大切な物をどんどん与えられているんだという実感を持つようになってきた事で悩まずに前向きでいられるようになってきました。

今の自分は回復も成長も始めたばかりだと思います。ですから、すぐに昔の生き方が顔を出すし無理のある考え方に支配されてしまいがちですが、今は無意味に思えることでも続けることで意味を持つという事を自分に言い聞かせ、極端な考え方や勝手な思い込みをしないようにバランスをとるよう常に考えながら、これからも急がずに回復・成長を続けていきたいと思っています。



10月の予定表

- 2日 アナクフォーラム
- 5日 ソフトボール大会
- 19.20日 東北ダルク会議
- 25日 塩原中学校講演
- 26日 ガイドポスト
- 28日 県西健康福祉センター来所研修
- 29日 大田原親園中学校講演
- 31日 宇都宮家族会



那須の秘湯

献金、献品を下された方々

佐藤忠雄様、水井清次様、バルトロメオ・マクマホン様、永田様
ダックスとちぎ様、福田澄夫様、鈴木鈴代様、長田康司様
カトリック白河教会高橋昌様、那須ケアセンターを支援する家族会様
大藤礼子様、ドムクス・しずおか様、柴田幸作様、田口清様、
吉沢弘道様、腰高和秀様、藤井福子様、岩松美八子様、神谷一二様

匿名3名様

いつも献金、献品など戴きありがとうございます。尚、ニューズレター発送簡略化の為、郵便振替用紙は全員に同封させて戴いております。どうぞご理解ください。

編集

D.A.R.C 那須アディクションケアセンター
〒329-3225 栃木県那須郡那須町豊原丙 3227 番地 2

TEL 0287-77-7157 FAX 77-7158

Eメール n-cc@mte.biglobe.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~NACC/>

発行所

郵便番号一五七—〇〇七三
東京都世田谷区砧六—二六—二二
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価1000円